使用済みの用紙をリサイクル
草花の種をすきこんだハンドメイド･ペーパーに

アメリカ合衆国コロラド州の州都デンバー。その北西40キロメートルほどのところに、ボウルダー市は位置します。ボウルダー市の周囲は、オープンスペースと呼ばれる開発を制限したベルト帯が設けられ、ありのままの自然環境が残されています。これに象徴されるよう、アウトドアや環境への意識が高く、街全体でリサイクルやリユースに積極的に取り組んでいます。

シードペーパーの開発元であるBloomin社は、そのボウルダーの郊外に位置し、街からあふれる紙のゴミをリユースしようと、1995年に事業を立ち上げました。シードペーパーは、企業や家庭から廃棄された古紙をリサイクルし、ナデシコやイングリッシュデイジー、キンギョソウ、ひなげしなど、数種類の草花の種を漉き込んだハンドメイド･ペーパーです。

一晩水につけてから、紙の上にうすく土をかけて水をやると、5〜10日前後で発芽し、40日前後で立派に成長。大切に育てれば、きれいな花も楽しめます。そして、種を包んでいた紙は分解され、やがて自然に還ります。紙の染色は植物ベースの染料、インクジェット印刷は水溶性インク。環境負荷の少ない素材を使用しています。

2010年春からシードペーパーの日本総代理店として同製品を輸入･販売している有限会社スープは、「1% フォー･ザ･プラネット」に加盟し、収益の一部を環境団体に寄付するなど、環境保全活動をサポートしています。



シードペーパーを使用したグリーティングカード


シードペーパーを型抜きした「シェイプ」

■シードペーパーのできるまで

